

議会だより

伊那市議会事務局
TEL 02665-96-8149
FAX 02665-76-9117
E-mail: gk@inacity.jp

Vol.61

新宿区議会との交流会

伊那市議会は11月1日〜2日にかけて、友好都市である東京都新宿区を議員全員で訪れました。高遠藩内藤家の江戸屋敷が現在の新宿区にあった縁で、旧高遠町時代から隔年で相互に訪問を続けている恒例行事です。新宿区議会との意見交換や視察を通じて交流を深め、伊那と新宿との歴史的なつながりを深く知ることができました。その模様をお伝えします。



● 文豪の面影と新宿の文化の香りを今に伝える 「漱石山房記念館」 さんぼう

新宿区議などの案内で区内を回った今回の交流事業では、最初に今年9月24日に開館したばかりの「区立漱石山房記念館」を視察しました。新宿区は文豪・夏目漱石が生まれ育ち、また、数々

の作品を執筆した街です。同館は「漱石山房」と呼ばれた和洋折衷の自宅の一部を当時の場所で見直し、資料などを展示しています。

真新しい館内では、年表や漱石の作品、直筆の原稿や手紙などに来館者が熱心に見入っていました。不遇の幼少期を経て文学に目覚めた少年期、帝国大学（現・東京大学）卒業後の名作「坊ちゃん」のモデルとなった愛媛などでの英語教員時代、そして数々の作品を送り出した朝日新聞社時代など、漱石の人生と人柄が鮮やかに浮かび上がる展示内容でした。写真等の資料が少ない漱石山房の再現に苦労した担当者の話を聞くこともでき、区が同館の整備に力を入れてきた経緯が伝わってきました。

同館には、漱石や漱石山房に集った文人たちの作品を読むことができるブックカフェや、「吾輩は猫である」のモデルとなった愛猫の塚がある公園も整備されており、観光客や文学ファンの憩いの場となりそうです。

● 伊那市と新宿区の交流の原点、高遠内藤家と江戸屋敷の歴史

2日目は、新宿歴史博物館で、

同館学芸員による高遠藩内藤家の江戸屋敷についての講演を聞きました。

伊那市は、新宿区の国内唯一の友好都市。その縁は、江戸時代に内藤家の江戸屋敷が現在の新宿御苑の場所にあったことにさかのぼります。新宿の地名は江戸初期、付近を通る甲州街道の最初の宿場が起点の日本橋から遠く不便だったことから、元禄年間になつて、内藤家の敷地に整備した新たな宿場を「内藤新宿」と呼んだことから来ています。



講演では、内藤家が甲州街道と青梅街道が交わる要衝に屋敷

を与えられていたことや、その屋敷が尾張徳川家や井伊家と匹敵する広さだったことなど、約3万石ながら徳川幕府の厚い信頼を得ていたことが解説されました。また、広大な屋敷を与えられるきっかけとなった「駿馬伝説」ゆかりの内藤神社や、内藤家の藩主の墓がある太宗寺といった、高遠と新宿の関係を伝える文化財が新宿区に点在していることも紹介されました。

担当者は「歌舞伎町の繁華街ばかりがクローズアップされますが、新宿には文化や歴史があることを知ってほしい」と話していました。この友好都市の縁に思いをはせながら周辺を散策することで、新宿の新たな魅力を発見することができそうです。

また1日目の夜には、同区議会と区長、副区長を交えた意見交換と懇親会も開かれ、高遠城下まつりに毎年参加している同区職員による阿波踊り連が息の合った踊りを披露してくださり、新宿区が伊那市を大切にしていることが伝わってきました。今後伊那市議会としても、この新宿区との友好関係を市政に活かすための施策を検討していきます。